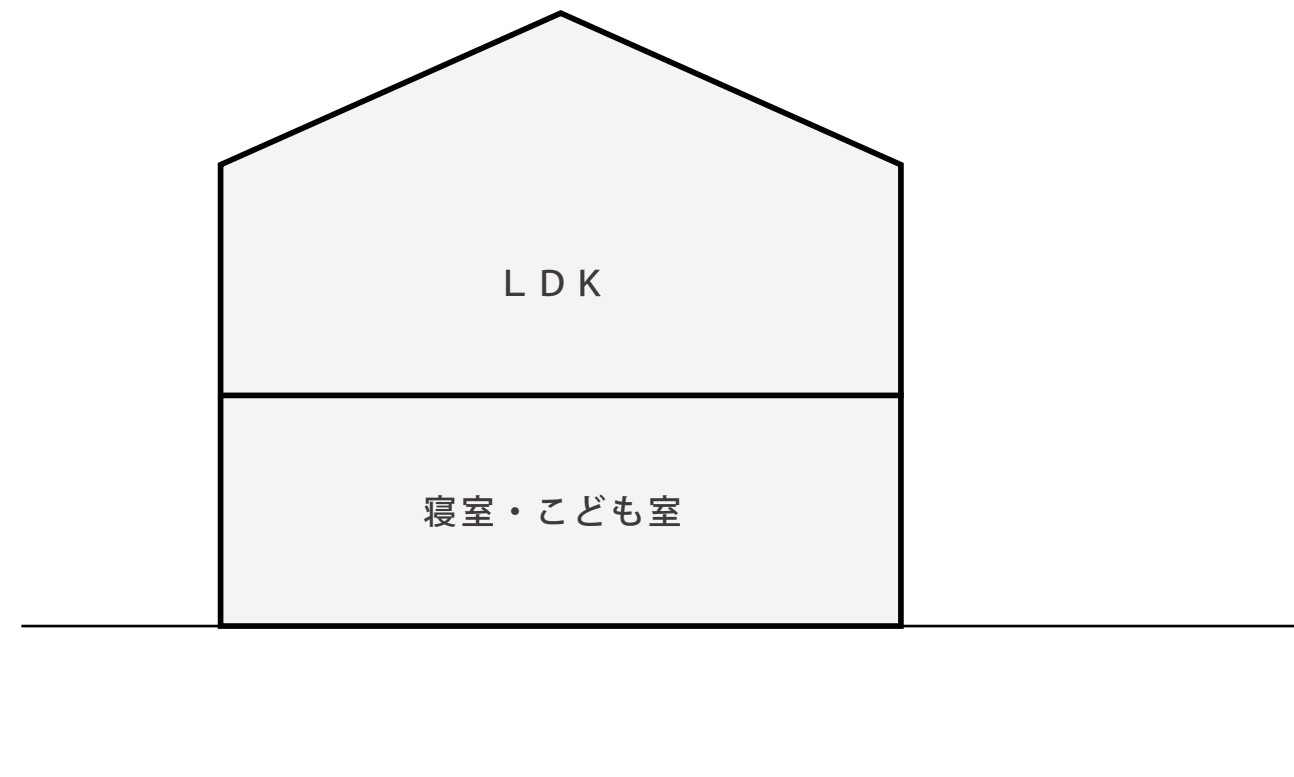


SITE CONDITION

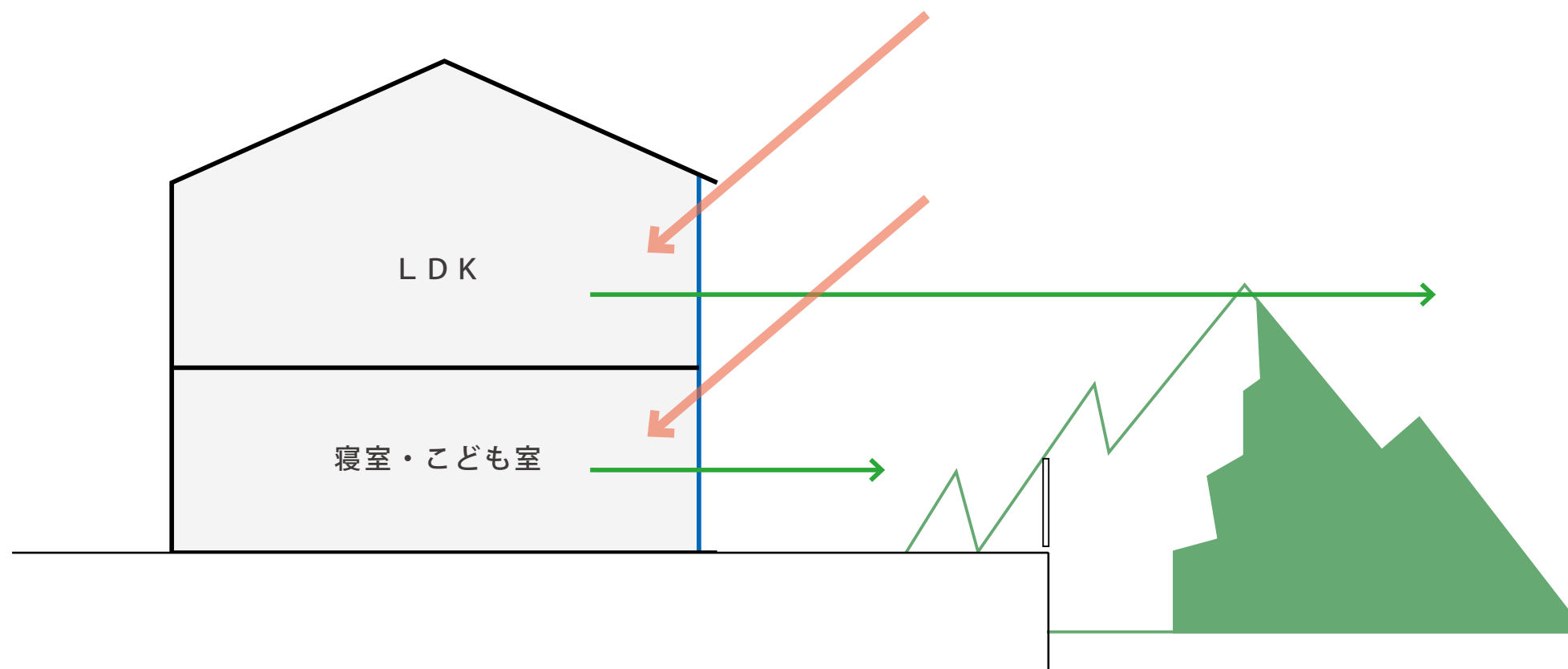


PLAN DEVELOPMENT



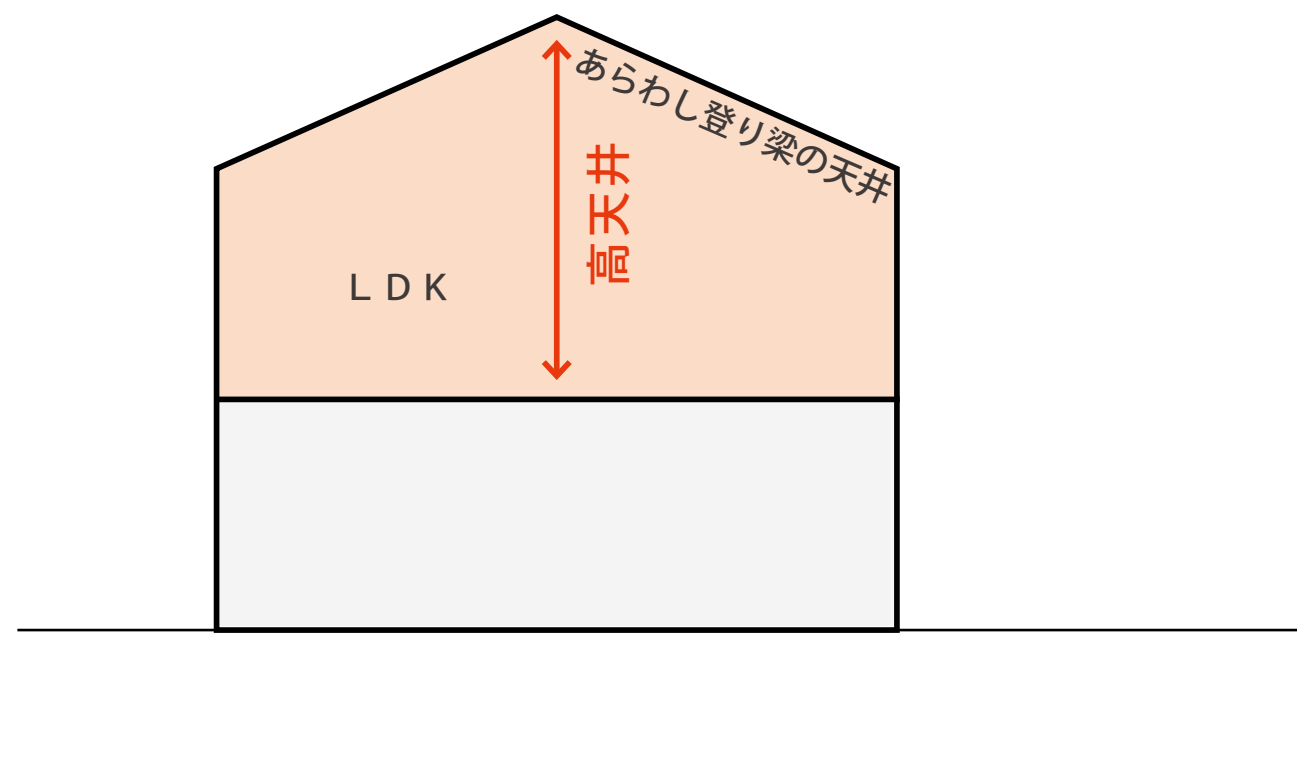
吹き抜けなしのシンプルな2層になるため、床面積を目一杯確保できる（寝室・子ども室を吹き抜けにする必要はない）

PLAN DEVELOPMENT



LDK、寝室・こども室すべてが直接、眺望のよい東側に面する
またLDKからの眺望は、崖の柵に邪魔されずに、気持ちよく視線が抜ける

PLAN DEVELOPMENT



登り梁



LDKは屋根勾配を利用して高天井をつくる。登り梁によって柱の数を最小に抑えた広がりのあるワンルーム空間となる。また梁はあらわしとして、印象的な天井をデザインする。

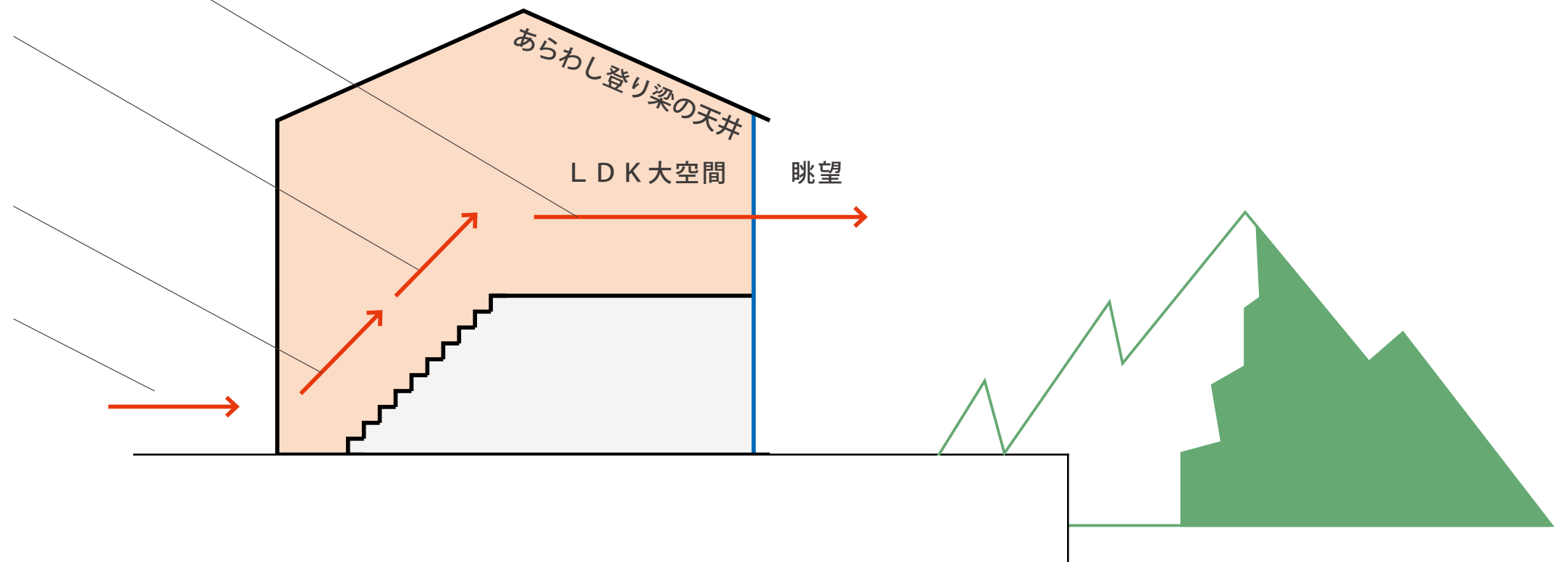
PLAN DEVELOPMENT

L D Kに入るとダイナミックなワンルーム空間、そしてその正面に水平大ガラスからの眺望がみえる

あらわし登り梁の天井を見ながら階段を上がる。上階が明るくなっているのを感じる

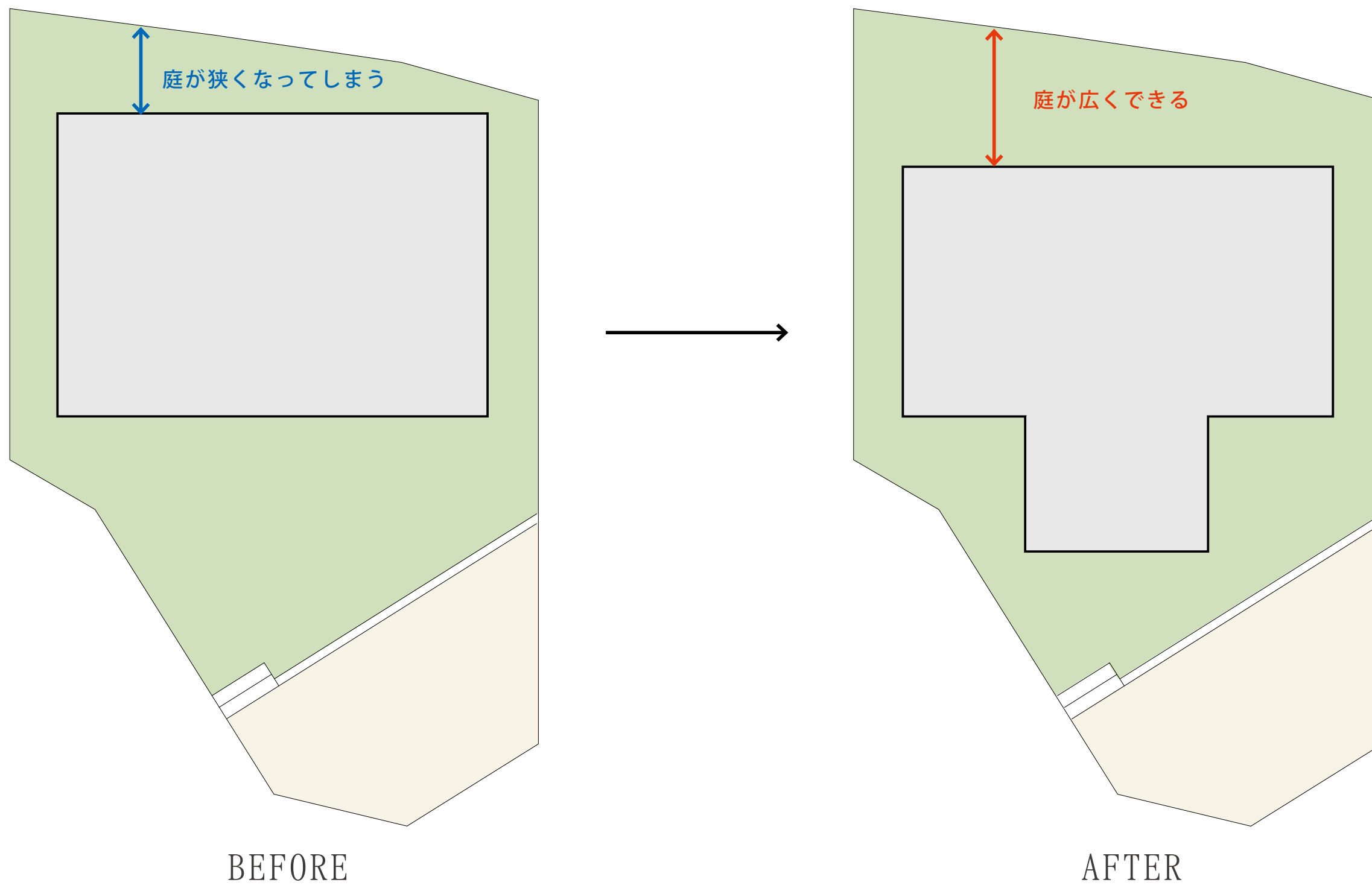
玄関に入ったときにはまだ眺望はわからない

端正な佇まいの外観



玄関からLDKまでの道のりで、ドラマチックなシーン展開をつくる

PLAN DEVELOPMENT

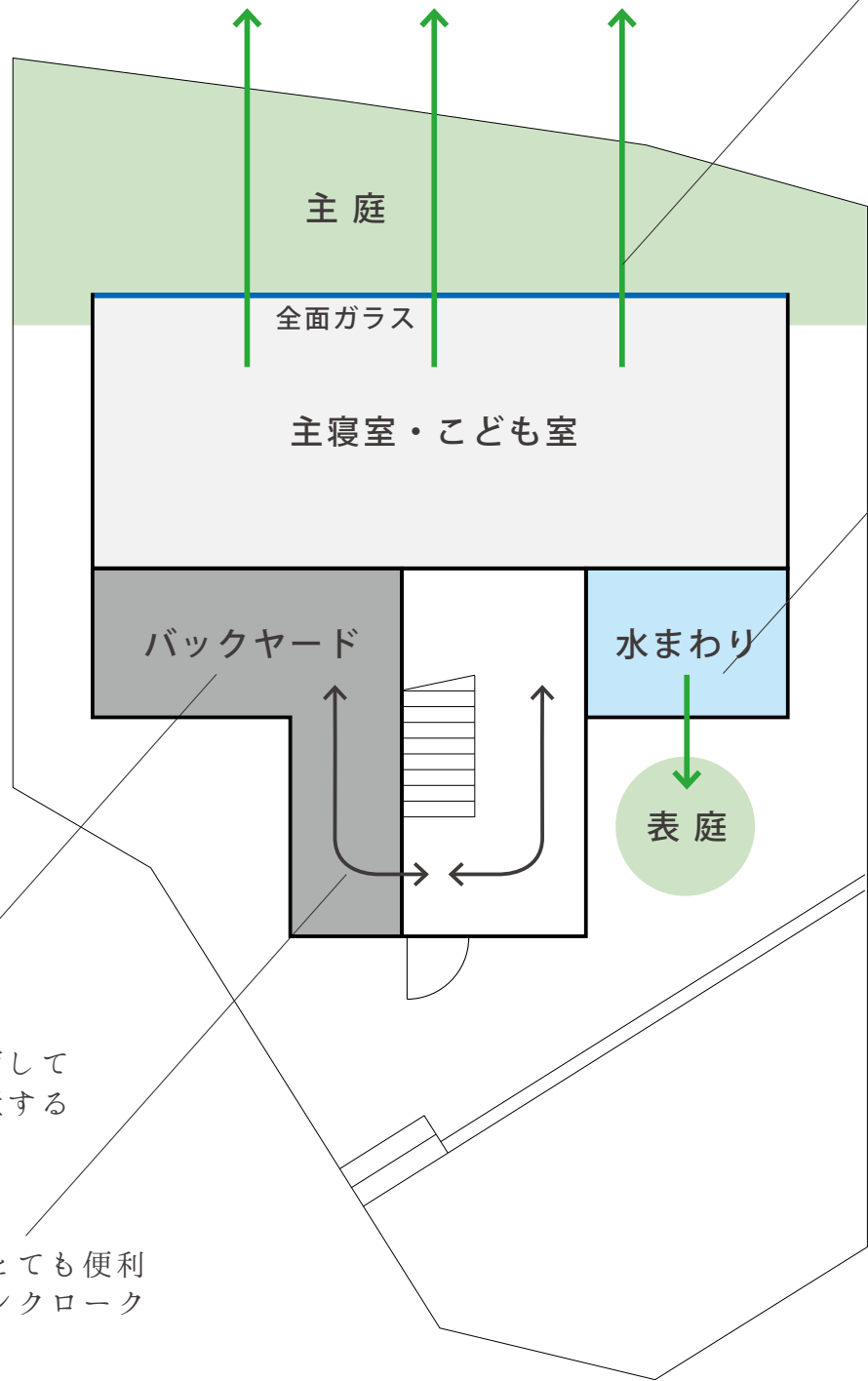


敷地にアジャストさせることで、建築面積を確保しながら、東側の庭を最大限に広くとる

PLAN DEVELOPMENT

主寝室・こども室も眺望のよい東側に面し、すべての寝室に直接朝日が差し込む

L D Kからの最高の眺望
崖の柵に邪魔されずに視線が抜ける



3方向にバランスよく窓を設けて、風の抜けるL D Kとする

坪庭をめぐるながら入浴できる豊かなバスルーム

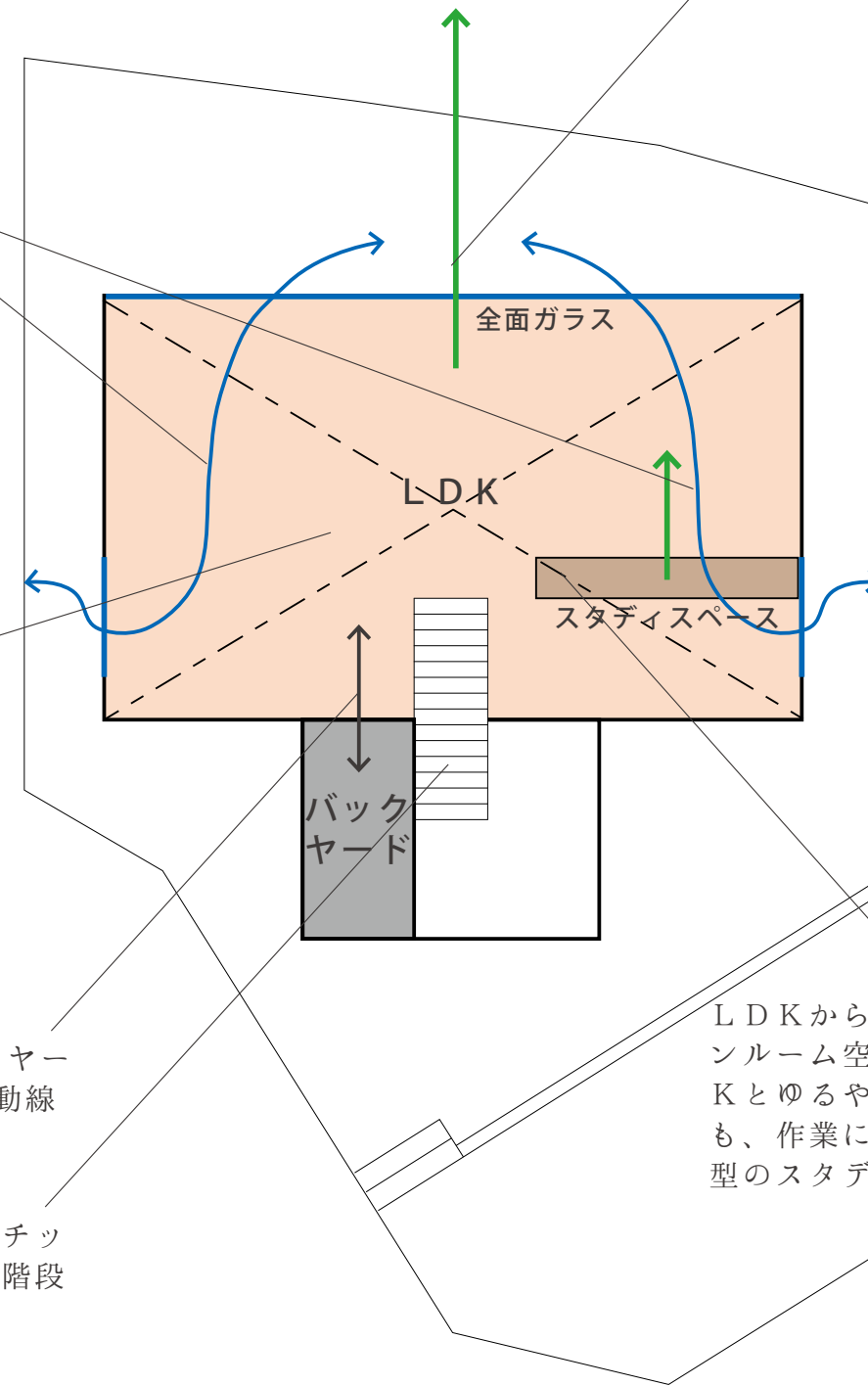
屋根勾配を利用して高天井をつくるL D K。登り梁によって柱の数を抑えた広がりのある大空間となる。あらわしの梁が天井を特別なものにする

キッチン-バックヤードへの機能的な動線

玄関からL D Kまで、ドラマチックなシーン展開を演出する階段

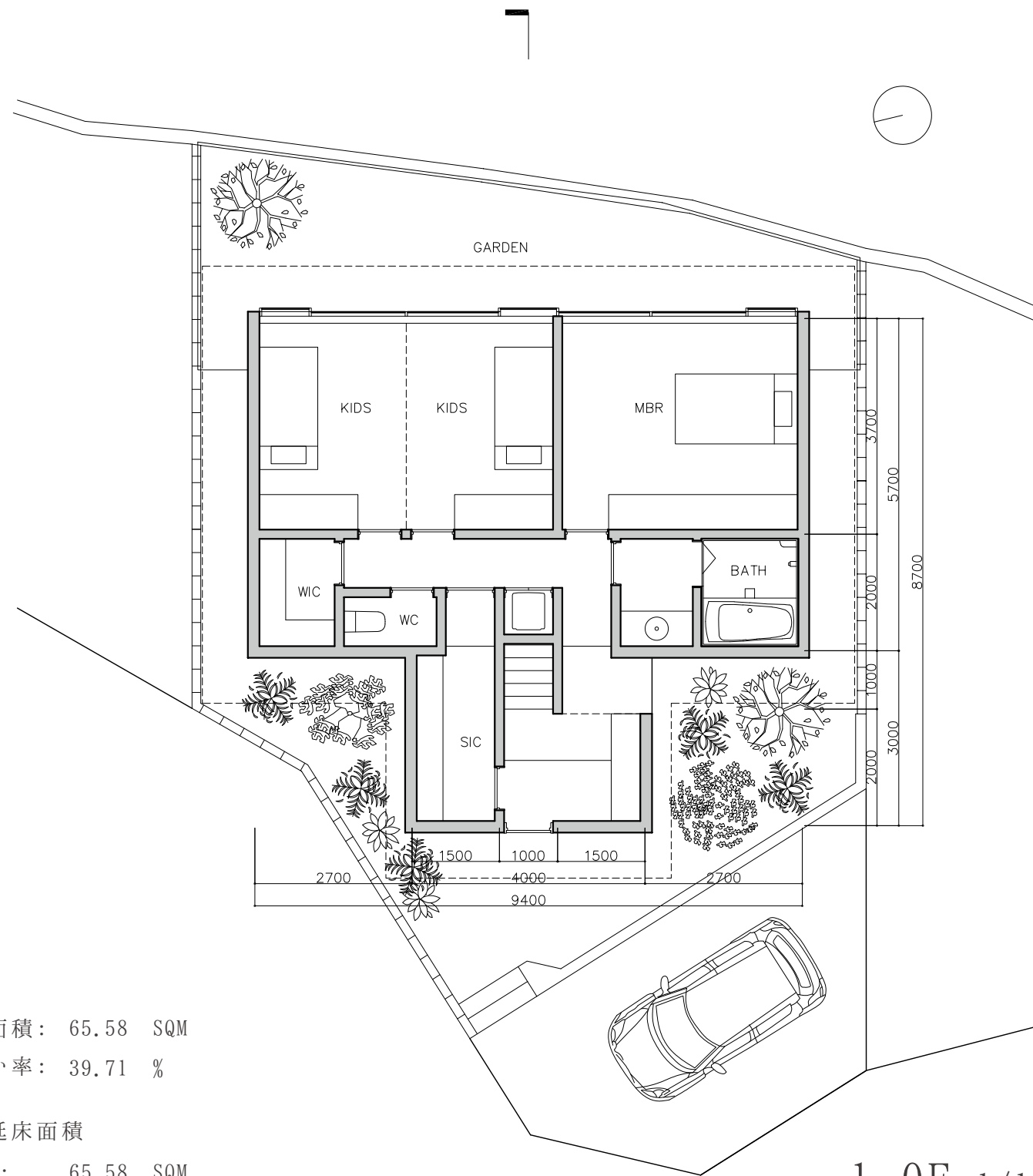
北側と西側壁面に面してバックヤード配置する

下足の履き替えにとっても便利なシューズインクローク



L D Kから一段あげることで、ワンルーム空間の一部として、L D Kとゆるやかにつながりながらも、作業に集中できるよう半独立型のスタディスペースとする

PLAN DEVELOPMENT OPTION2



建築面積： 65.58 SQM

建ぺい率： 39.71 %

法定延床面積

1 F： 65.58 SQM

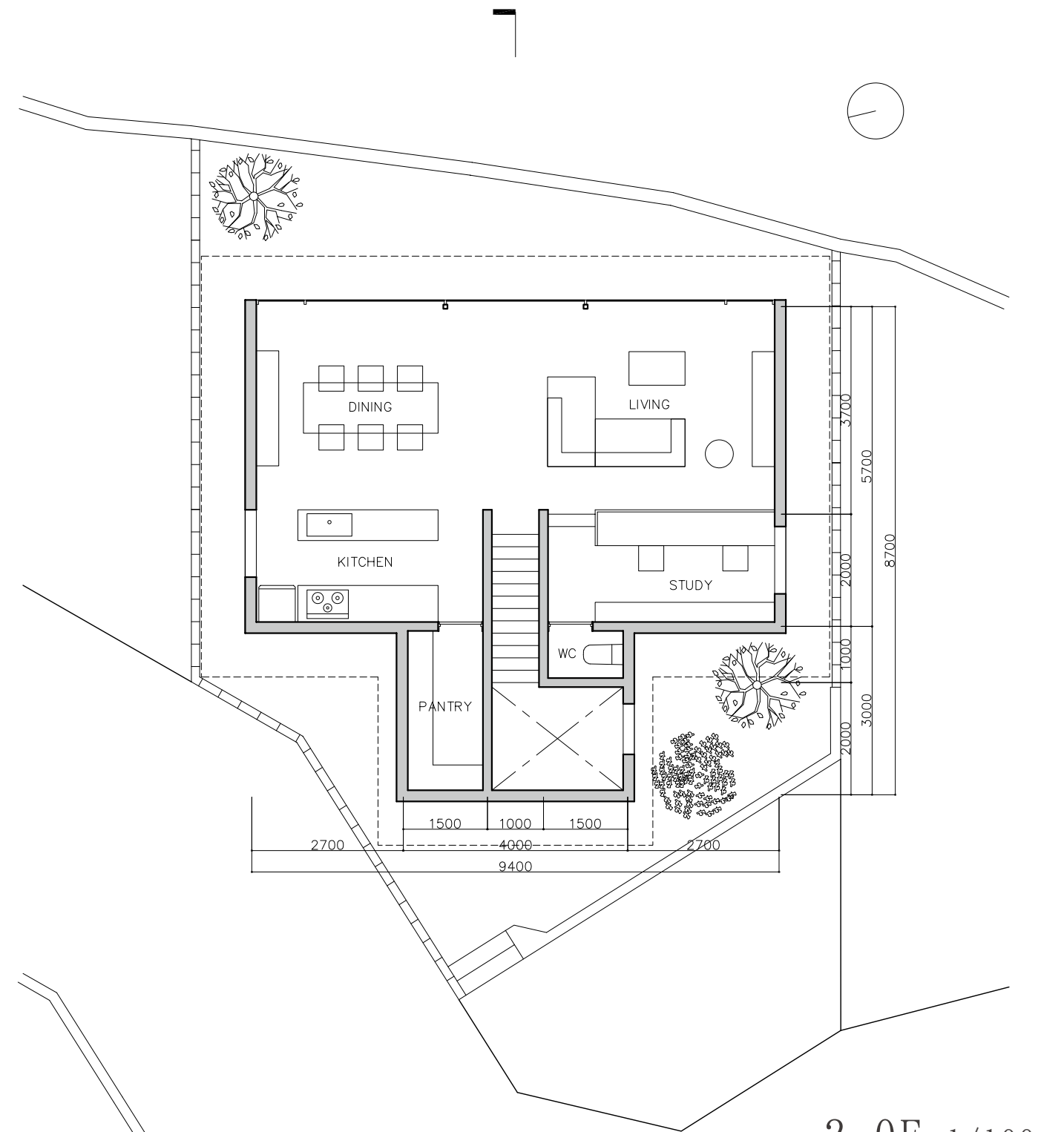
2 F： 59.58 SQM

小計： 125.16 SQM

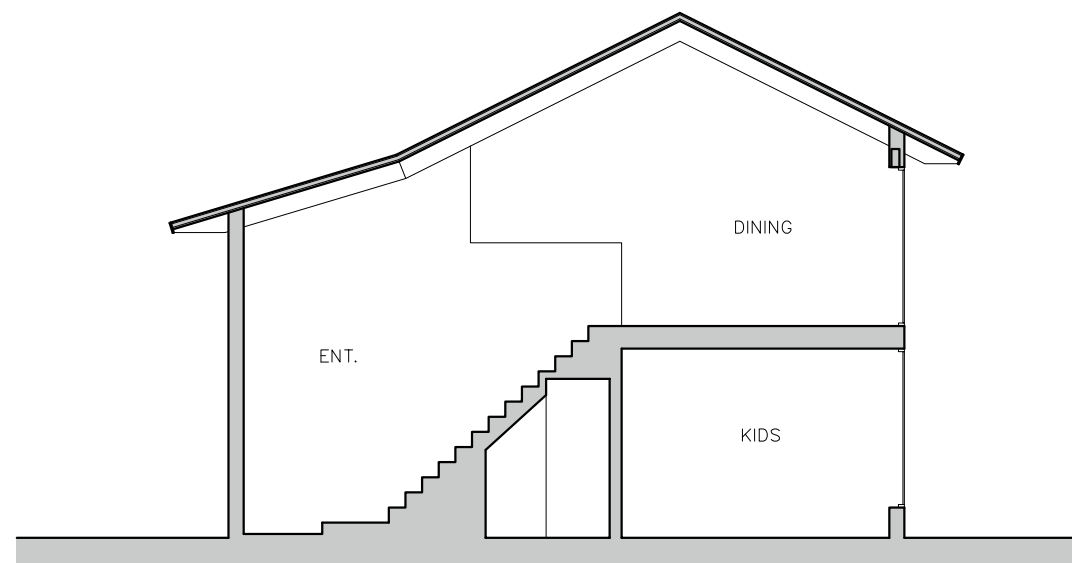
容積率： 75.80 %

※確認申請時に申請機関の指導により、若干プラン調整が生じる可能性があります。

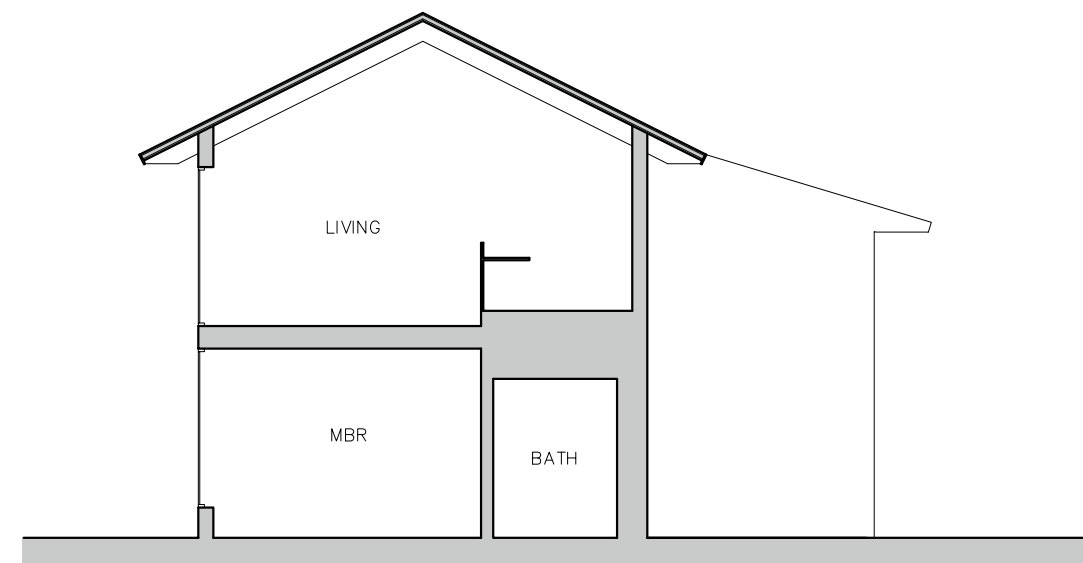
※実施段階の設備設計・構造実施設計によって吹き抜け周辺で追加の梁や柱、耐力壁が生じる可能性があります。



PLAN DEVELOPMENT OPTION2



SEC. 1/100



SEC. 1/100

※確認申請時に申請機関の指導により、若干プラン調整が生じる可能性があります。

※断面構成イメージにつき、実施段階の設備設計・構造実施設計によって吹き抜け周辺で追加の梁や柱、耐力壁が生じる可能性があります。



2階LDKの風景。眼下に北鎌倉の六国見山のパノラマビューが広がる。強固な屋根梁によって柱をなくし、柱で途切れてしまうことのない連続的な水平窓をつくる（構造計算による）。また登り梁によってLDK内には極力柱をおとさない大きなワンルームとする（構造計算による）。



LDKは登り梁によって、まるで吹き抜けのような高天井となる。また登り梁はあえて”あらわし”として、天井に特別な表情をつくりだす。内装仕上げはモノトーンを基調とし、ライトウッドやレンガタイルの素材感をアクセントにすることで、肌ざわり感がありながら、かつシンプルで洗練された印象をつくりだす。



玄関の風景。2階LDKの天井登り梁がチラッとみえる。階段を上ると眺望が徐々にみえてくるドラマティックな展開をみせる。



寝室・こども室の風景。寝室・こども室も贅沢に眺望のよい東側に面する。東側から朝日が差し込む開放的で心地よいベッドルームとなる。



道路側（西側）からの外観イメージ。シンプルなかたちの建物＋シンプルな屋根。かたちはシンプルでありながらも、屋根軒裏や屋根垂木を木を使うなどディテールをデザインすることで、シンプルでエレガントな工芸品のような、特別な雰囲気をもとわせる。



崖側（東側）からの外観イメージ。眺望のよい東側に向かって大きな窓が並ぶ。閉ざされた表と開かれた裏のメリハリが、屋外から屋内に入ったときの、ドラマチックな空間体験を生み出す。